１００人の子供たちが列車を待っている（1988）

CIEN NINOS ESPERANDO UN TREN

メディア 映画
ジャンル ドキュメンタリー
製作国 チリ
色彩 Color
時間 58分
初公開日 1990/06/01
公開情報 パンドラ

【キャッチコピー】
子供たちが初めて体験した《感動》　それは映画との出会いだった……　ダイヤモンドスマイルを忘れない

【解説】
　列車とは、１８９５年パリのグラン・カフェ“インドの間”で動き出した銀幕の上のそれである。リュミエール兄弟の「列車の到着」を、チリのサンチアゴ郊外の貧しい子供たちに届けてしまう、魔法使いのように素敵な女教師のドキュメンタリーが本作。映画といえば「ランボー」などを、しかもテレビで観るのが関の山という子供たちに、週一回、紙で簡単なアニメの装置を作ったりしながら映画の歴史を教える授業。そして町の映画館にバスに揺られていく小旅行の、なんと胸高鳴ることか。一人一人、一枚のコマを絵に描いて、それを繋げて一本のフィルムを作る実習で彼らが選んだテーマは“抗議運動”。それがこの抑圧された国の、日常の光景なのだろう。現に本作は、２１歳以下鑑賞禁止とされた。出演した１００人の子供たちは、銀幕の自分に会えないのである。映画を描いた映画の中でも、もっとも素直で幸福な掌編。

【クレジット】
監督 イグナシオ・アグエロ
製作 ベアトリス・ゴンザレス
撮影 ハイメ・レイエス
　　ホルヘ・ロート

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.